

2010年（平成22年）の日本の天候（速報）

本資料は、全国154地点の気象台などにおける12月20日までの観測データをもとに、速報としてまとめたものです。確定値による資料は平成23年1月4日に発表します。

2010年（平成22年）の日本の天候の特徴：

○年平均気温は全国で高く、降水量は一部を除き多い

全国的に5月までは気温の変動が大きかったが、6月以降は高温となることが多く、年平均気温は全国で高く、北日本から西日本ではかなり高くなった。また、年降水量は西日本日本海側を除き多かった。年間日照時間は、北日本と沖縄・奄美でかなり少なかった。

○春は気温の変動が大きい

春は、暖かい空気が流れ込み気温が平年を大幅に上回った時期と、寒気が南下し気温が平年を大幅に下回った時期があるなど、全国的に気温の変動が大きかった。

○夏の日本の平均気温は過去113年間で最も高い

夏は全国的に気温が高く、長期間にわたる気温観測データが存在し、都市化の影響の少ない17地点の気象台などで平均した日本の夏の平均気温は、1898年以降の113年間で第1位の高い記録となった。

○台風の発生数が最も少ない

発生数は14個（平年は26.7個）で、1998年の16個を下回り1951年の統計開始以来の最少を記録した。接近数は7個と平年（10.8個）を下回った。

1 概況

2010年の天候の主な特徴は、冬から春にかけての大きな気温の変動、夏から秋にかけての顕著な高温である。

冬の平均気温は全国で高かったが、強い寒気が流れ込み気温が平年を大幅に下回った時期もあるなど気温の変動が大きかった。寒気の影響を受けた12月中旬(2009年)、1月前半、2月上旬には日本海側の各地で大雪となった。特に、1月中旬には新潟県の山沿いで3メートルを超える積雪となったのをはじめ、2月上旬には新潟で26年ぶりに81センチの積雪となるなど、東日本日本海側を中心に2006年冬以来の大雪となった。

春は、暖かい空気が流れ込み気温が平年を大幅に上回った時期と、寒気が南下し気温が平年を大幅に下回った時期があるなど、全国的に気温の変動が大きかった。強い寒気が流れ込んだ4月中旬には、17日に関東甲信地方から東北地方南部にかけての広い範囲で降雪を観測し、東京などでは1969年に観測した最も遅い降雪の記録に並んだ。また、本州付近を低気圧や前線が頻繁に通過したため、春の降水量は北日本から西日本にかけてかなり多く、日照時間は、北日本と東・西日本日本海側でかなり少なかった。

夏は北日本から西日本にかけて顕著に気温が高かった。長期間にわたる気温観測データが存在し、都市化による影響の少ない17地点の気象台などで平均した日本の夏の平均気温は、1898年以降の113年間で第1位の高い記録となった。特に、強い太平洋高気圧に覆われることが多

かった8月の気温が高く、全国154地点のうち77地点で月平均気温の高い記録を更新した。夏の降水量は、前線や湿った気流の影響を受けやすかった北日本日本海側ではかなり多く、西日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった一方、東日本では少なかった。梅雨入りが遅く、梅雨明けが早い地方が多かったが、梅雨期間中の梅雨前線の活動は活発で、梅雨の時期の降水量が少ない地方はなかった。

秋は、9月には残暑が厳しく、10月もこの時期としては非常に暖かい空気に覆われる時期があるなど、全国的に気温が高かった。特に北日本では3か月間を通して寒気の影響を受けることが少なく、夏に続いて顕著な高温となった。また、北日本から西日本にかけて9月上旬が記録的な高温であったことを反映して、46地点で9月としての猛暑日日数の最大値を更新した。11月に入り、東日本以西では寒気の影響を受けやすくなって高温が解消したが、北日本では平年に比べ寒気の流入が弱く、引き続き気温が高かった。秋の降水量は、台風、前線、湿った気流の影響を受けやすかった沖縄・奄美でかなり多かった。

2010年の台風の発生数は14個（平年は26.7個）で、1998年の16個を下回り1951年の統計開始以来の最少を記録した。接近数は7個と平年（10.8個）を下回った。

2 気温、降水量、日照時間等の気候統計値

（12月20日までのデータによる）

（1）平均気温

年平均気温は、北日本から西日本にかけてかなり高く、沖縄・奄美で高かった。北日本から西日本にかけて平年を1℃以上上回ったところがあり、帯広（北海道）では、12月20日までの年平均気温の平年差が最高値を上回っている。

（2）降水量

年降水量は、北日本日本海側と沖縄・奄美でかなり多く、北日本太平洋側、東日本、および西日本太平洋側で多かった。西日本日本海側では平年並だった。

（3）日照時間

年間日照時間は、北日本と沖縄・奄美でかなり少なく、西日本で少なかった。名護、与那国島（以上、沖縄県）では、12月20日までの年間日照時間の平年比が最小値を下回っている。東日本では平年並だった。

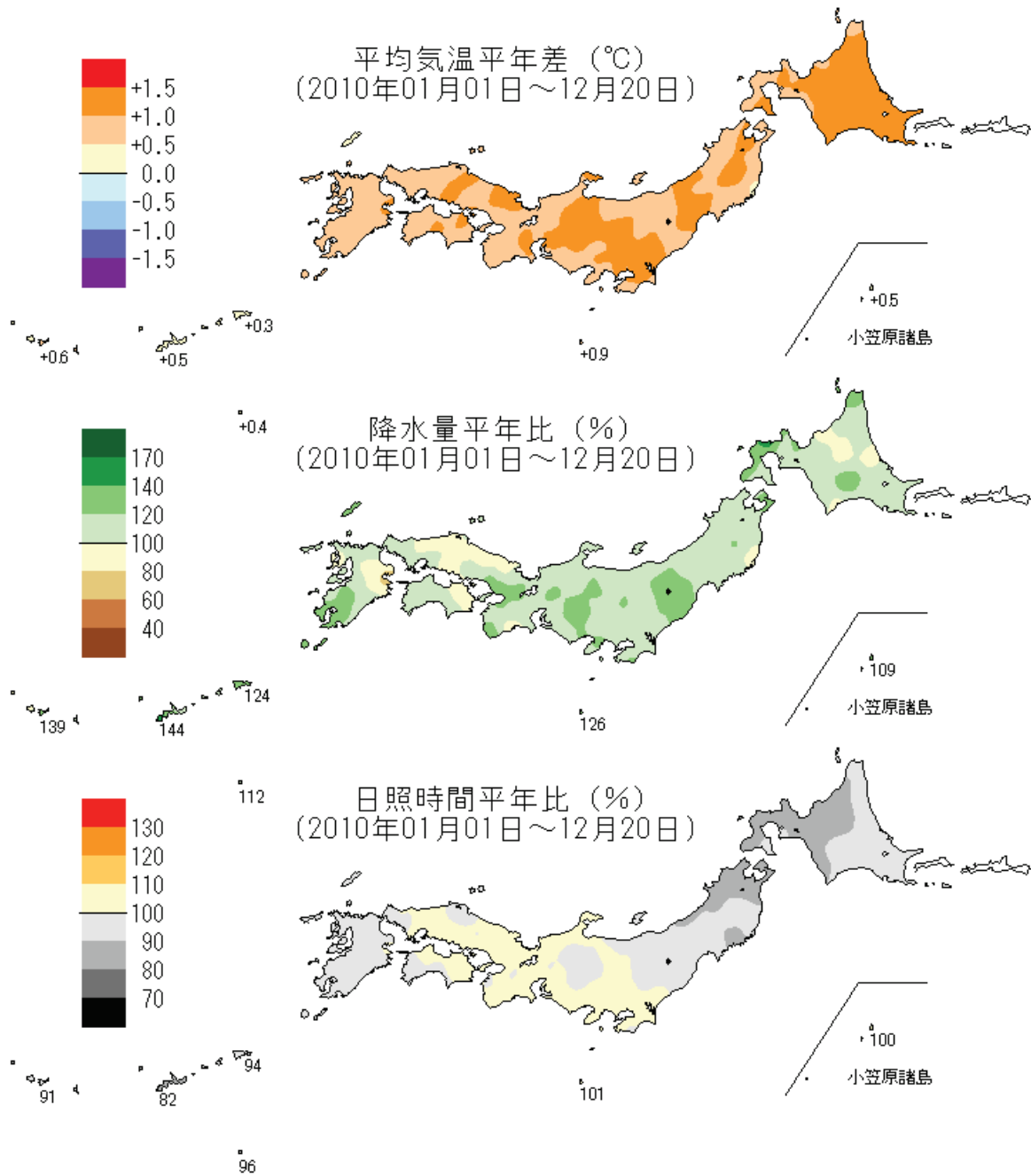
地域平均平年差（比）と階級（2010年）（12月20日までのデータによる）

	気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)
北日本	1.0 (+)*	113 (+)*	91 (-)*	北海道	1.1 (+)*	111 (+)	90 (-)*
		日 116 (+)*	日 88 (-)*			日 116 (+)*	日 86 (-)*
		太 110 (+)	太 93 (-)*			才 108 (+)	才 95 (-)
東日本	1.0 (+)*	113 (+)	102 (○)	東北	0.9 (+)*	115 (+)	92 (-)
		日 111 (+)	日 100 (○)			日 114 (+)	日 91 (-)
		太 113 (+)	太 102 (○)			太 115 (+)	太 93 (-)
西日本	0.8 (+)*	108 (+)	99 (○)	関東甲信	1.0 (+)*	114 (+)	102 (○)
		日 103 (○)	日 98 (-)	北陸	0.9 (+)*	111 (+)	100 (○)
		太 113 (+)	太 99 (-)	東海	0.9 (+)	111 (+)	103 (+)
沖縄・奄美	0.4 (+)	117 (+)*	90 (-)*	近畿	0.8 (+)	117 (+)	103 (+)
				日 102 (○)	日 103 (+)		
				太 123 (+)	太 103 (+)		
				中国	0.9 (+)*	99 (○)	101 (○)
				陰 98 (○)	陰 99 (○)		
				陽 101 (○)	陽 103 (+)		
				四国	0.8 (+)*	102 (○)	100 (○)
				九州北部	0.7 (+)	105 (○)	96 (-)
				九州南部	0.6 (+)*	119 (+)	93 (-)*
				・奄美 本 0.7 (+)*	本 121 (+)*	本 93 (-)*	
				奄 0.3 (+)	奄 112 (+)	奄 93 (-)	
				沖縄	0.5 (+)*	119 (+)	88 (-)*

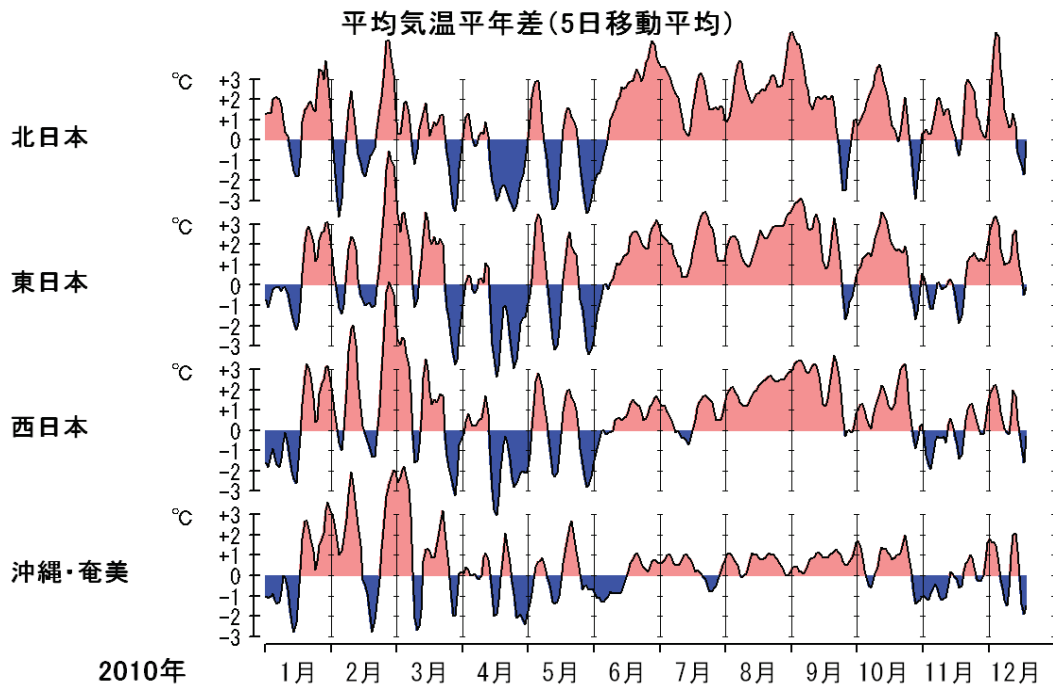
階級表示 -:低い(少ない) ○:平年並 +:高い(多い) 地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)
 *はかなり低い(少ない) かなり高い(多い)を表す 才:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美
 太:太平洋側

(注)・基礎となるデータは全国の気象台などでの観測値で、観測所数は154地点である。このうち、降雪の深さ、最深積雪については、観測を行っている106地点が対象である。
 ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1971~2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1971~2000年の観測値の下部または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

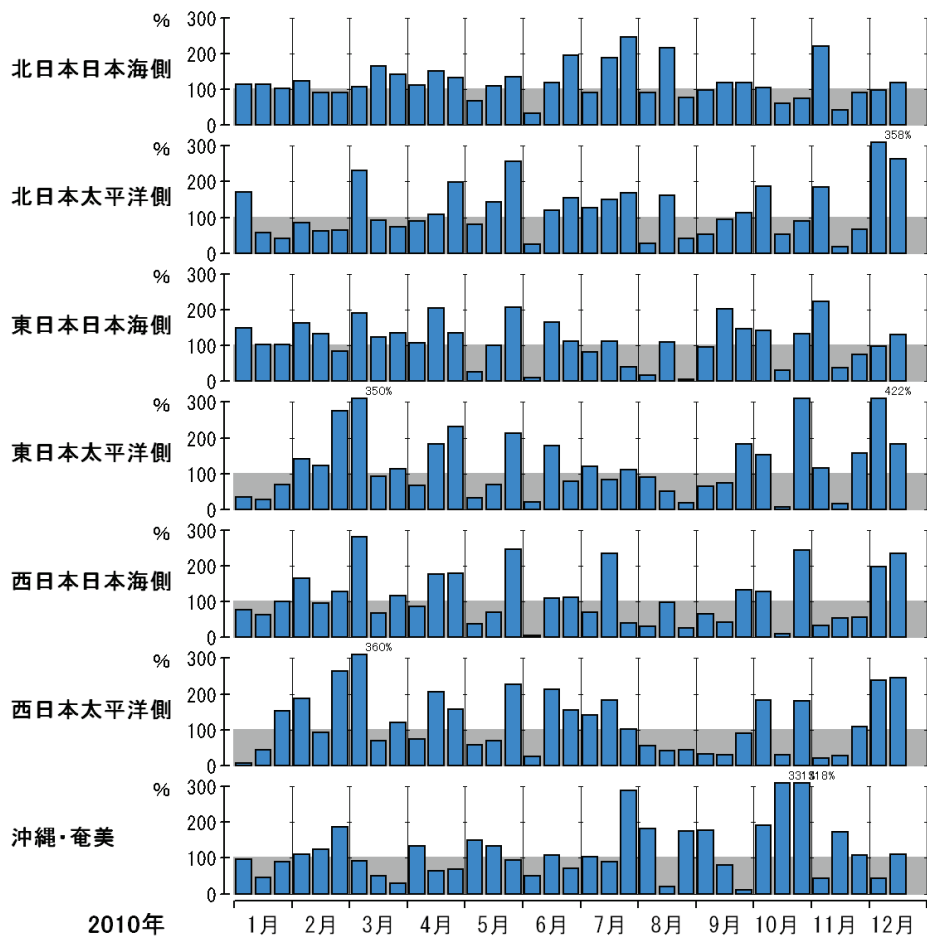
平年差（比）図（2010年）（12月20日までのデータによる）



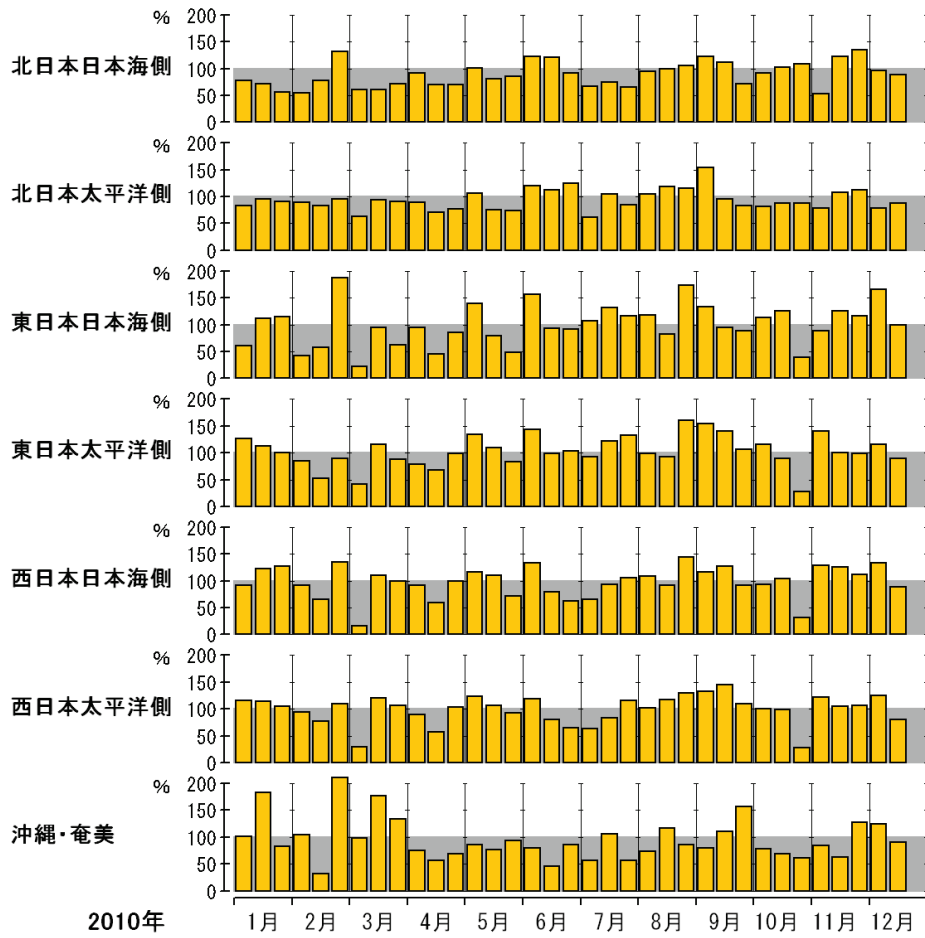
地域平均平年差（比）の経過（12月20日までのデータによる）



降水量平年比(旬別)



日照時間平年比(旬別)



観測史上1位の値（月、3か月、年別値）の更新地点数

- ・全国154地点の気象台などの統計値の中で、観測史上1位となった地点数を記載した。
- ・値は1位を更新した地点数でタイ記録は含めない、タイ記録がある場合には「値タイ」として横に併記した
- ・地域は更新およびタイ記録の地点数の合計が5以上のとき記載した

	平均気温		降水量		日照時間		降雪の深さ	最深積雪
	最高	最低	最大	最小	最大	最小	最大	最大
1月	0	0	0	1タイ	0	1	2	0
2月	0	0	1	0	0	2	0	0
冬	0	0	0	0	0	0	1	
3月	0	0	9 東・西日本	1	0	6 東・西日本	2	1
4月	0	0	7 北～西日本	0	0	9 北・東日本	1	1
5月	0	0	0	0	0	0		
春	0	0	7 北～西日本	0	0	12 北～西日本		
6月	4、2タイ 北・東日本	0	2	0	0	0		
7月	2、1タイ	0	4	0	0	6 北日本、沖 縄・奄美		
8月	77、7タイ 北～西日本	0	0	4	0	0		
夏	55、6タイ 北～西日本	0	0	0	0	3		
9月	3、6タイ 北～西日本	0	1	0	7 東・西日本、 沖縄・奄美	0		
10月	1タイ	0	2	0	0	5 西日本、沖 縄・奄美		
11月	0	0	0	0	1	0	0	0
秋	3、1タイ	0	0	0	0	0		
年(速報) (2010年)	1、4タイ	0	1タイ	0	0	2、1タイ		

3 季節別の天候経過

冬（2009年12月～2010年2月）：

○冬の平均気温は全国で高かったが、寒気が流れ込み低温となった時期もあるなど、気温の変動が大きかった

○東日本日本海側を中心に大雪となった

○北日本では日照時間がかなり少なかった

冬の平均気温は全国で高かったが、強い寒気が流れ込み気温が平年を大幅に下回った時期もあるなど気温の変動が大きかった。日本海側の降雪量は、冬合計では北日本日本海側では少なく東日本日本海側と西日本日本海側では平年並だったが、寒気の影響を受けた12月中旬、1月前半、2月上旬には各地で大雪となった。特に、1月中旬には新潟県の山沿いで3メートルを超える積雪となったのをはじめ、2月上旬前半には新潟で26年ぶりに81センチの積雪となるなど、東日本日本海側を中心に2006年冬以来の大雪となった。このほか、12月下旬には北海道の太平洋側でも低気圧の影響により大雪となった。

平均気温は全国的に高かった。降水量は東日本日本海側でかなり多く、東・西日本太平洋側で多かった。北日本、西日本日本海側および沖縄・奄美では平年並だった。日照時間は北日本でかなり少なく、東日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美では多く、東日本日本海側と西日本では平年並だった。

春（3～5月）：

○全国的に気温の変動が大きかった

○北日本から西日本にかけて降水量がかなり多く、日照時間がかなり少なかった

春は、暖かい空気が流れ込み気温が平年を大幅に上回った時期と、寒気が南下し気温が平年を大幅に下回った時期があるなど、全国的に気温の変動が大きかった。3月上旬と中旬、5月上旬と中旬後半から下旬前半は南から暖かい空気が流れ込み全国的に気温が平年を大幅に上回った。一方、3月下旬、4月中旬と下旬、5月中旬前半と下旬後半は強い寒気が流れ込み、全国的に気温は平年を大幅に下回った。強い寒気が流れ込んだ4月中旬には、17日に関東甲信地方から東北地方南部にかけての広い範囲で降雪を観測し、東京などでは41年前の1969年に観測した最も遅い降雪の記録に並んだ。また、本州付近を低気圧や前線が頻繁に通過したため、春の降水量は北日本から西日本にかけてかなり多く、日照時間は、北日本と東・西日本日本海側でかなり少なかった。

平均気温は北日本で低く、東・西日本では平年並、沖縄・奄美で高かった。降水量は、北日本から西日本にかけてかなり多く、沖縄・奄美では平年並だった。日照時間は北日本と東・西日本日本海側でかなり少なく、東・西日本太平洋側で少なく、沖縄・奄美では平年並だった。

夏（6～8月）：

○夏の平均気温は、北日本から西日本にかけてかなり高かった

○夏の降水量は、北日本日本海側でかなり多かった

夏は北日本から西日本にかけて顕著に気温が高かった。長期間にわたる気温観測データが存在し、都市化による影響の少ない17地点の気象台などで平均した日本の夏の平均気温は、1898年以降の113年間で第1位の高い記録となった。また、北日本と東日本では1946年以来第1位の高温となり、全国154地点のうち55地点で夏の平均気温の高い記録を更新した。特に、強い太平洋高気圧に覆われることが多かった8月の気温が高く、77地点で月平均気温の高い記録を更新した。夏の降水量は、前線や湿った気流の影響を受けやすかった北日本日本海側ではかなり多く、

西日本太平洋側と沖縄・奄美が多かった一方、東日本では少なかった。梅雨入りが遅く、梅雨明けが早い地方が多かったが、梅雨期間中の梅雨前線の活動は活発で、西日本を中心に大雨となる日もあった。また、梅雨の時期の降水量が少ない地方はなかった。

平均気温は全国で高く、北日本から西日本にかけてはかなり高かった。降水量は、北日本日本海側でかなり多く、西日本太平洋側と沖縄・奄美が多かった。一方、東日本では少なく、北日本太平洋側と西日本日本海側では平年並だった。日照時間は東日本太平洋側でかなり多く、東日本日本海側が多かった。一方、沖縄・奄美ではかなり少なかった。北日本と西日本では平年並だった。

秋（9～11月）：

○秋の平均気温は全国で高く、北日本ではかなり高かった

○沖縄・奄美では降水量がかなり多かった。

秋の平均気温は全国的に高く、特に北日本ではかなり高かった。9月は上・中旬を中心に日本の南で太平洋高気圧の勢力が強く、西日本と東日本太平洋側の広い範囲で猛暑日になる日があるなど、全国的に残暑が厳しかった。また、北日本から西日本にかけての9月上旬の高温が記録的であったことを反映して、46地点で9月としての猛暑日日数の最大値を更新した。10月は、上・中旬にこの時期としては非常に暖かい空気に覆われて北・東日本を中心に気温が平年を大幅に上回ったことなどから、9月に続いて全国的に気温が高かった。11月に入り、東日本以西では寒気の影響を受けやすくなって高温が解消したが、北日本では平年に比べ寒気の流入が弱く、引き続き気温が高かった。

平均気温は全国で高く、北日本ではかなり高かった。降水量は、沖縄・奄美でかなり多く、東日本で多かった。一方、西日本では少なく、北日本では平年並だった。日照時間は、東・西日本太平洋側が多かった。一方、北日本太平洋側と沖縄・奄美では少なく、北日本から西日本にかけての日本海側では平年並だった。

4 全国気候表 2010年(12月20日までのデータによる)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
札幌	10.2	(+1.3)	1297.0	(119)	144	1502.9	(86)
稚内	7.9	(+1.0)	1257.0	(122)	153	1409.2	(95)
北見枝幸	7.4	(+1.2)	1383.0	(117)	168	1470.7	(95)
旭川	8.3	(+1.3)	1026.0	(98)	159	1411.1	(88)
留萌	8.9	(+1.0)	1017.0	(89)	156	1262.3	(82)
羽幌	9.0	(+1.2)	1492.0	(119)	171	1351.7	(85)
岩見沢	9.0	(+1.2)	1279.5	(115)	154	1491.3	(87)
倶知安	8.2	(+1.1)	1590.0	(111)	181	1265.5	(87)
小樽	9.5	(+0.7)	1482.5	(126)	157	1380.3	(85)
寿都	9.6	(+0.8)	1604.5	(141)	164	1190.9	(82)
網走	8.0	(+1.4)	816.5	(104)	119	1783.8	(98)
紋別	7.8	(+1.3)	789.0	(96)	122	1602.8	(95)
雄武	7.2	(+1.3)	996.0	(114)	133	1532.6	(92)
釧路	7.6	(+1.2)	1048.5	(102)	93	1822.2	(95)
根室	7.6	(+1.2)	1083.5	(106)	105	1772.0	(98)
帯広	8.4	(+1.5)	1112.5	(122)	100	1887.6	(96)
広尾	8.3	(+1.3)	1652.0	(96)	117	1633.5	(91)
室蘭	9.6	(+0.8)	1252.0	(104)	116	1596.0	(93)
苫小牧	8.7	(+0.9)	1323.0	(109)	107	1450.9	(86)
浦河	9.1	(+1.0)	1220.5	(112)	117	1616.4	(87)
函館	10.3	(+1.1)	1148.0	(101)	135	1586.1	(91)
江差	11.1	(+0.9)	1413.0	(123)	146	1255.3	(86)
青森	11.5	(+1.1)	1429.5	(115)	158	1450.8	(87)
深浦	11.5	(+0.5)	1682.0	(117)	172	1298.2	(87)
むつ	10.6	(+0.9)	1578.5	(124)	152	1410.4	(85)
八戸	11.3	(+1.0)	1072.5	(109)	106	1691.8	(90)
秋田	12.7	(+0.9)	1850.5	(111)	181	1415.9	(89)
盛岡	11.4	(+1.0)	1484.5	(120)	137	1548.5	(91)
大船渡	12.2	(+0.7)	1613.0	(107)	107	1554.0	(87)
宮古	11.3	(+0.5)	1212.0	(93)	93	1760.6	(95)
仙台	13.6	(+1.1)	1297.5	(105)	99	1738.2	(97)
石巻	12.6	(+0.9)	1236.5	(117)	98	1803.9	(94)
山形	12.9	(+1.1)	1279.5	(117)	137	1514.8	(93)
新庄	11.9	(+1.0)	1914.0	(108)	182	1243.1	(93)
酒田	13.7	(+1.1)	1863.5	(103)	184	1390.0	(89)
福島	14.2	(+1.1)	1444.5	(132)	111	1703.3	(98)
若松	12.6	(+0.8)	1431.0	(130)	151	1540.4	(96)
白河	12.6	(+1.0)	1667.5	(123)	123	1676.1	(94)
小名浜	14.1	(+0.7)	1701.5	(124)	97	1927.3	(97)
水戸	14.8	(+1.1)	1496.5	(114)	102	1938.3	(106)
館野(つくば)	15.1	(+1.3)	1365.0	(111)	102	1936.2	(110)
宇都宮	15.2	(+1.4)	1668.0	(116)	121	1810.6	(97)
日光	7.9	(+0.8)	2101.0	(101)	140	1564.8	(90)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
前橋	15.8	(+1.2)	1438.5	(124)	116	2072.3	(105)
熊谷	16.2	(+1.3)	1242.5	(100)	109	2036.8	(105)
秩父	14.2	(+1.0)	1317.0	(104)	125	1864.8	(103)
東京	17.2	(+0.9)	1636.0	(112)	109	1910.5	(107)
大島	16.9	(+0.8)	2923.5	(104)	133	1769.3	(102)
三宅島	18.5	(+0.7)	3839.5	(134)	144	1595.7	(95)
八丈島	18.6	(+0.9)	3851.0	(126)	168	1390.8	(101)
父島	23.7	(+0.5)	1358.0	(109)	110	2026.8	(100)
千葉	16.9	(+1.2)	1481.5	(116)	104	1849.9	(103)
銚子	16.5	(+1.0)	1766.0	(114)	114	1957.1	(104)
館山	16.8	(+0.8)	2030.5	(117)	124	1953.1	(103)
勝浦	16.5	(+0.7)	2277.5	(121)	131	1865.1	(99)
横浜	16.9	(+1.1)	1802.0	(112)	105	2012.1	(108)
長野	13.0	(+0.9)	1026.0	(115)	123	1901.0	(102)
松本	13.0	(+1.1)	1284.5	(127)	101	2008.6	(99)
諏訪	12.2	(+1.0)	1497.5	(115)	116	2002.5	(98)
軽井沢	9.5	(+1.2)	1393.0	(117)	121	1852.7]	()
飯田	13.9	(+1.1)	2228.5	(140)	124	1910.5	(99)
甲府	15.6	(+0.9)	1293.5	(117)	109	2101.8	(102)
河口湖	11.7	(+1.1)	1480.0	(98)	119	1880.7	(102)
静岡	17.5	(+0.8)	2815.0	(122)	115	2076.7	(105)
浜松	17.1	(+0.8)	1949.5	(105)	98	2236.5	(107)
御前崎	17.2	(+0.8)	2343.5	(114)	107	2241.6	(105)
三島	17.0	(+1.0)	2341.0	(127)	121	1898.3	(103)
石廊崎	17.3	(+0.6)	1829.0	(101)	113	2064.3	(102)
網代	17.0	(+0.8)	2292.5	(122)	118	1783.0	(103)
名古屋	17.0	(+1.2)	1700.0	(109)	99	2043.3	(102)
伊良湖	16.9	(+0.8)	1669.5	(104)	102	2191.3	(101)
岐阜	16.8	(+0.9)	2389.5	(126)	114	2021.8	(100)
高山	12.2	(+1.1)	1939.0	(114)	151	1556.4	(98)
津	17.0	(+1.2)	1595.5	(97)	93	2101.2	(107)
上野	15.4	(+1.2)	1567.0	(114)	105	1776.5	(107)
尾鷲	16.9	(+0.7)	3775.0	(97)	115	1925.9	(104)
四日市	15.8	(+0.9)	1842.0	(106)	101	1961.9	(103)
新潟	14.8	(+0.9)	1910.5	(112)	180	1571.5	(96)
相川	14.8	(+0.9)	1674.0	(114)	164	1579.1	(96)
高田	14.5	(+0.8)	2795.5	(106)	201	1525.7	(97)
富山	15.3	(+1.3)	2622.5	(121)	181	1583.8	(100)
伏木	14.9	(+0.8)	2432.0	(115)	181	1622.3	(102)
金沢	15.5	(+0.8)	2652.0	(112)	186	1666.9	(101)
輪島	14.5	(+1.0)	2118.5	(102)	181	1572.2	(100)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
福井	15.4	(+0.7)	2479.0	(114)	174	1611.4	(101)
	敦賀	16.3	(+1.0)	2215.5	(104)	167	1607.7
彦根	15.7	(+1.0)	1784.0	(112)	126	1820.4	(101)
京都	16.8	(+0.8)	2024.0	(132)	102	1704.0	(101)
	舞鶴	15.7	(+1.1)	1774.5	(102)	153	1597.5
大阪	17.6	(+0.7)	1554.0	(120)	96	1993.7	(104)
神戸	17.6	(+0.8)	1619.5	(129)	89	2057.9	(108)
	豊岡	15.5	(+1.1)	1793.5	(93)	161	1509.2
姫路	16.3	(+1.0)	1503.0	(123)	84	2033.5	(106)
	洲本	16.2	(+0.6)	1703.0	(118)	89	2050.4
奈良	15.7	(+0.7)	1560.0	(118)	103	1748.3	(97)
和歌山	17.4	(+0.7)	1562.0	(118)	90	2003.8	(99)
	潮岬	17.9	(+0.6)	3151.5	(126)	127	2168.4
岡山	17.1	(+0.9)	1193.5	(105)	89	2045.0	(104)
	津山	14.7	(+1.0)	1466.5	(100)	91	1750.1
広島	17.0	(+0.6)	1566.5	(102)	88	1997.9	(102)
	呉	17.1	(+0.9)	1456.5	(102)	87	2044.8
福山	16.5	(+1.1)	1114.0	(96)	84	2082.3	(103)
松江	15.9	(+1.0)	1720.5	(98)	146	1688.9	(99)
	西郷	15.1	(+0.8)	1953.0	(115)	135	1657.0
浜田	16.4	(+0.9)	1449.0	(87)	130	1753.9	(102)
鳥取	16.0	(+1.0)	1701.5	(92)	152	1689.3	(102)
	米子	16.1	(+1.1)	1578.0	(90)	139	1717.7
境	16.0	(+0.8)	1973.0	(107)	151	1724.4	(100)
徳島	17.3	(+0.7)	1487.0	(97)	96	2068.5	(104)
高松	17.4	(+1.3)	953.5	(86)	83	2028.2	(100)
	多度津	17.0	(+0.7)	1036.0	(96)	84	2111.6
松山	17.3	(+0.9)	1408.5	(109)	100	1959.8	(102)
	宇和島	17.5	(+0.7)	1659.0	(101)	120	1820.1
高知	17.9	(+1.0)	3067.5	(117)	106	2046.7	(100)
	宿毛	17.7	(+0.8)	1996.5	(101)	111	1965.4
清水	18.8	(+0.6)	2486.5	(103)	118	2045.1	(95)
	室戸岬	17.4	(+0.7)	2545.5	(109)	122	2070.4
山口	16.3	(+0.9)	2032.5	(109)	113	1803.2	(97)
	下関	17.4	(+0.9)	1699.0	(102)	106	1769.4]
萩	16.5	(+0.9)	1841.5	(110)	114	1722.6	(101)
福岡	17.9	(+1.0)	1674.5	(104)	114	1810.2	(100)
	塚	16.3	(+0.5)	1947.5	(109)	120	1742.6

地名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
大分	17.4	(+1.1)	1288.0	(77)	100	1903.7	(100)
日田	16.2	(+0.7)	1697.0	(93)	117	1626.5]	()
長崎	17.8	(+0.6)	1850.0	(95)	118	1735.7	(95)
厳原	16.3	(+0.5)	2679.0	(127)	104	1749.3	(96)
平戸	16.7	(+0.5)	2299.5	(108)	123	1651.9	(94)
佐世保	17.7	(+0.7)	1912.5	(99)	116	1783.9	(97)
雲仙岳	13.4	(+0.5)	2989.0	(102)	137	1265.5	(90)
福江	17.5	(+0.7)	2485.0	(106)	124	1619.8	(96)
佐賀	17.3	(+0.8)	1884.5	(101)	114	1819.0	(99)
熊本	17.8	(+0.9)	2041.5	(103)	127	1853.8	(97)
阿蘇山	10.6	(+0.6)	3225.5	(100)	156	1350.0	(91)
人吉	16.4	(+0.9)	3045.0	(128)	146	1593.2]	()
牛深	18.6	(+0.5)	2265.5	(113)	137	1818.3	(96)
宮崎	18.0	(+0.4)	2804.5	(115)	143	1933.8	(95)
延岡	17.3	(+0.7)	2339.5	(101)	128	1973.1	(96)
都城	17.4	(+0.9)	3138.5	(129)	139	1711.8	(90)
油津	18.9	(+0.7)	2990.0	(116)	145	1772.0	(93)
鹿児島	19.2	(+0.6)	2882.0	(128)	138	1732.0	(93)
阿久根	18.1	(+0.8)	2264.5	(107)	130	1769.2	(93)
枕崎	18.7	(+0.6)	2714.0	(129)	144	1719.8	(92)
屋久島	20.0	(+0.6)	5252.5	(123)	174	1340.6	(90)
種子島	20.2	(+0.6)	3145.5	(137)	139	1706.4	(97)
名瀬	22.0	(+0.3)	3527.0	(124)	183	1290.3	(94)
沖永良部	22.8	(+0.3)	1952.5	(100)	135	1692.1	(92)
那覇	23.4	(+0.5)	2879.5	(144)	146	1463.3	(82)
名護	23.0	(+0.4)	2496.0	(119)	157	1496.5	(87)
久米島	23.3	(+0.4)	2552.0	(122)	147	1499.9	(88)
宮古島	24.0	(+0.5)	2066.0	(105)	140	1584.9	(91)
石垣島	24.8	(+0.6)	2785.0	(139)	132	1662.4	(91)
西表島	24.2	(+0.4)	2077.5	(91)	133	1600.3	(97)
与那国島	24.2	(+0.4)	1953.0	(85)	164	1390.8	(89)
南大東島	23.6	(+0.4)	1794.5	(112)	129	1945.5	(96)

- (注) 1. これらは12月20日までの観測値を使った集計結果である。
2. 値の横に] がある場合(資料不足値)には、統計期間内のデータに欠測等統計に
用いなかった値が含まれているので注意されたい。
3. 平年差(比)は同期間の日別平年値を平均・合計したものに對する差(比)である。

5 平年差（比）が観測史上1位を上回っている地点

(12月20日までのデータによる)

過去の記録と同値は「=」で表す。

年平均気温の平年差が最高値を上回っている地点

地点名	2010年(12月20日まで)			これまでの最高 平年差(西暦年) ℃	開始年
	平年差 ℃	値 ℃	平年値* ℃		
帯広	+1.5	8.4	6.9	+1.3 (1990)	1892
釧路	+1.2=	7.6	6.4	+1.2 (1990)	1910
広尾	+1.3=	8.3	7.0	+1.3 (1990)	1958
宇都宮	+1.4=	15.2	13.8	+1.4 (2004)	1890
館野	+1.3=	15.1	13.8	+1.3 (2004)	1921

年平均気温の平年差が最低値を下回っている地点

なし

年降水量の平年比が最大値を上回っている地点

地点名	2010年(12月20日まで)			これまでの最大 平年比(西暦年) %	開始年
	平年比 %	値 mm	平年値* mm		
飯田	140=	2228.5	1588.5	140 (1991)	1897

年降水量の平年比が最小値を下回っている地点

なし

年日照時間の平年比が最大値を上回っている地点

なし

年日照時間の平年比が最小値を下回っている地点

地点名	2010年(12月20日まで)			これまでの最小 平年比(西暦年) %	開始年
	平年比 %	値 h	平年値* h		
与那国島	89	1390.8	1560.0	91 (1995)	1957
那覇	82=	1463.3	1784.3	82 (1912)	1900
名護	87	1496.5	1714.7	93 (1975)	1966

(注) これらは12月20日までの観測値を使った集計結果であるので、年末までのデータを加えた確定値では変わる可能性がある。

値の横に]がある場合(資料不足値)には、統計期間内のデータに欠測等統計に用いなかった値が含まれている。順位は極値順位以上になることは

確実であるが、統計値の使用に際しては注意されたい。

平年値(*)は日別平年値を平均・合計したものである。

平年値とは1971~2000年の30年間の値を平均したものである。

※平年値に関するお知らせ

気象庁では、現在は 1971-2000 年の統計による平年値を使用していますが、2011 年 5 月中旬から 1981-2010 年の統計による新しい平年値を使用する予定です。

天候のまとめでは、2011（平成 23）年 6 月 1 日に発表する「2011 年 5 月の天候」および「2011 年春（3-5 月）の天候」から新しい平年値を使用する予定です。